

特許技術を用いた独自設計でドリフト0(ゼロ)、安定性0.02℃の高性能を実現

Kayeの氷温基準器は、特許技術を用いた独自の設計により、長期的な「ドリフト」がまったくない、高い安定性(0.02℃)を実現しています。これにより、冷接点に起因する誤差を最小化し、熱電対による温度測定において最高の精度を提供します。

K-170

ラックマウント式の氷温基準器です。

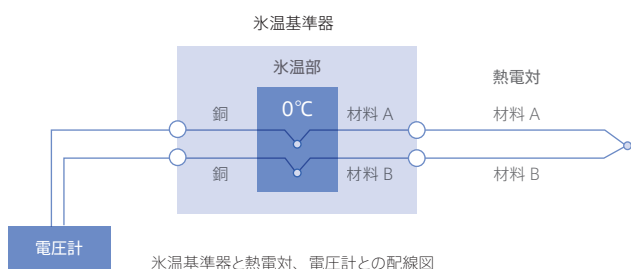
最大 75 本までの熱電対入力用の氷温基準を構成できます。各入力には内部の整合用材料に接続され、これらは氷温部で銅に終端されます。氷温部からは熱電対グレードの銅線で出力端子に接続されています。

整合用材料は、T、J、K、B、E、N、RおよびS型を用意。オプションとして熱電対のシールドや、氷温部にRTDを組み込むことも可能です。

また、校正も可能です。



K-170
ラックマウント式で、他ユニットやサーバPCとまとめて収納可能



K-140、K-150

ポータブル・タイプの氷温基準器です。

K150は、K-170と同様、入力端子が氷温部で銅に終端された整合用材料に接続された構成を採用。入力は最大8チャンネルで、各入力の整合用材料はT、J、K、B、E、N、RおよびS型から選択可能。K140は氷温部にセンサ挿入孔を4つ備えたタイプで、頻繁にセンサを替えて試験するような用途に適しています。



K-140
幅 270mm、高さ 162mm と本体が小さいため、持ち運びにも便利

K-170、K-140/150の主な仕様

項目	K-170	K-140/150
基準温度	0℃	0℃
使用環境範囲	5℃～40℃	5℃～40℃
長期ドリフト	なし	なし
安定性	0.02℃ typ., 0.05℃ 保証	0.01℃ typ., 0.025℃ 保証 (K-140) 0.02℃ typ., 0.05℃ 保証 (K-150)
チャンネル数	最大 75チャンネル (6, 12, 24, 36, 50, 75 から選択)	挿入孔 4ヶ (K-140) 最大 8チャンネル (K-150)
入力端子	ねじ止め式	ねじ止め式 (K-150)
出力端子	MSまたはQDタイプ	MSまたはQDタイプ (K-150)
電源	115-230VAC 50/60Hz	115-230VAC 50/60Hz
寸法	W483 x D273 x H178 ~ 400 mm (入力数による)	W162 x D343 x H270 mm (K-140) W162 x D343 x H279 mm (K-150)